

とちぎ米産地だより【8月号】

<25年産のとちぎ米に関する情報をいち早くお届けします！>

第17号 平成25年8月8日(木)
発行責任者:JA全農とちぎ 米穀課

1. とちぎ米生長日記

栃木県では稲が**登熟期**を迎えています！



◎ 7/30(火) JAおやま圃場 ◎
穂も出揃い、垂れてきました！

●生育状況●

早植コシヒカリ

- ・出穂期は5～7日早まり、7月下旬～8月始めに穂が出揃いました。葉色は淡く、穂数はやや少なめです。
- ・収穫期は8月末～9月上旬と例年より早まることが予想されます。

普通植あさひの夢

- ・草丈が短く、茎数はやや少なめでしたが、8月に入ってから的高温で生育は回復しつつあります。

栃木県では、25年産米の収穫に向けて**適期刈取の推進**を行っています！
生産者に刈取適期の判断方法を伝達し、早めに刈取り、栃木米の品質向上につなげます。

2. 全農イベント情報

●第14回 パワフルアグリフェア

JAグループ栃木では、今年で14回目を迎える**パワフルアグリフェア(PAF)**を7月20日(土)～21日(日)の2日間、宇都宮市内のみずほの自然の森公園で開催致しました。

「**未来へつなごう、とちぎの元気農業**」をスローガンに、県内10JAが結集する県下統一展示会として、JAグループ栃木が総力を挙げて、とちぎの元気農業を応援する夏の大イベントです！今年の来場者数は2日間で6,200名を超え、同会場になってから最大となりました。



メインの農業機械コーナーでは、高度化・多様化する生産者のニーズに対応することを目的として、普段見られないような大型・最新型農機や各種作業機等の展示紹介を行いました。メーカー30社が約1,500台の農機を展示し、系統独自型式コンバインをはじめとしたJA推奨機種や、鉄コーティング種子湛水直播機など、最新鋭の機械の試乗やデモンストレーションを行って操作性などを来場者にPRしました。

営農総合情報発信コーナーでは、生産者に対し、低コスト・省力化、安全・安心な農畜産物の生産に寄与する情報の発信と新たな技術の提案・紹介を行いました。



「食べて元気だ！栃木産！」コーナーでは、とちぎ和牛・とちぎゆめポークを使用した串焼き、ノンアルコールビール、花きの販売や、米の新品種「とちぎの星」の試食等を行いました。栃木の農畜産物の信頼性と、JAグループの事業活動を消費者にアピールし、「食」を通した「農」の理解促進を図ることを目的としています。

来場されたお客様には本県産の農畜産物の質の高さと安心・安全をPRすることができ、生産者と消費者の相互理解が深められたイベントとなりました！

3. とちぎ米産地紹介

石畑の棚田 ～茂木町～

日本の棚田百選！

栃木県東部に位置する茂木町入郷には、水が豊富で土質の良い沢沿いの傾斜地を、祖先が並々ならぬ苦労を重ねて開墾して作った、たくさんの貴重な棚田が見られます。

その中でも、石畑の棚田は規模が大きく、1/8の傾斜と4.9haの広さがあります。近年は、高齢化による労働力の不足等により放棄地が出てきていますが、ボランティアの方々の奉仕活動やオーナー制度によって復活を図っています。



●棚田の利点●

棚田は、平地の水田に比べると何倍もの手間がかかりますが、美味しいお米が収穫される上に右のような素敵な利点も挙げられます！

●斜面の崩壊や下流の洪水を防ぐ

●水源の涵養(かんよう)

●貴重な動植物の生息



4. 施設紹介

JAなすの 米麦サテライト施設

この度JAなすのでは、サテライトシステムの導入を図り、7月19日には乾燥調製施設として富池調製品質管理センター、富池RC、湯津上RCの3施設の竣工式を執り行いました。JAなすのの米麦施設サテライトシステムとは、農家から荷受けした籾を管内7箇所の乾燥施設(RC、CE)で乾燥のみを行い、その後、中心拠点施設となる調製品質管理センターに集約し籾摺調製を専門に行うというものです。乾燥と籾摺調製を専門的に担う施設を連携させる方式で全国でも初めての事例です。調製品質管理センターのメリットは以下の通りです。

①安定品質

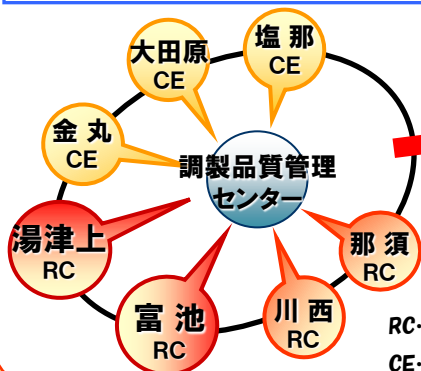
調製作業をセンターで集約して行うので、品質ムラの無い安定品質の米を提供できます。また大型低温倉庫が隣接しているため、年間を通して、安全・安心なお米を出荷できます。

②物流の合理化

管内ばら化率の向上により、物流コストを低減します。フレコン出荷の拡大により、実需者の積下ろし作業の軽減等、効率化が図れます。

③柔軟対応

最新鋭の光選別機を構え、実需者のニーズに合わせた調製を行えます。調製・出荷を一元化しますので、トレーサビリティ等に迅速に対応できます。



大型低温倉庫 (中央ライスターミナル)



消費者

実需者

RC…ライスセンター
CE…カントリーエレベーター

※ 問合せ先 ※

◆内容に関する、ご意見、ご質問、ご感想も、是非、お寄せください。

JA全農とちぎ 米穀課 電話:028-626-2174 FAX:028-621-2037